

令和5年度 第1回 札幌方面門別警察署協議会議事概要

項 目	内 容
開催日時	令和5年6月16日（金）午後2時0分から午後3時0分までの間
開催場所	札幌方面門別警察署 大会議室
出席者	<p>協議会委員 7名（定員7名）</p> <p>会 長 豊田 美弥子</p> <p>副会長 高橋 正勝</p> <p>委 員 赤坂 俊幸</p> <p>福士 美鶴</p> <p>和田 与志男</p> <p>松 澤 浩</p> <p>西尾 央子</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>警察署員 5名</p> <p>署 長 伊藤 昇一</p> <p>副署長 竹中 伸一</p> <p>刑事生活安全課長 藤井 美光</p> <p>地域交通課長 駿河 嘉秀</p> <p>警務係長</p>
開 催 状 況	
<p>1 開会の辞</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>3 会長挨拶</p> <p>4 門別警察署報告</p> <p>(1) 警察署協議会について</p> <p>(2) 管内情勢について</p> <p>ア 刑法犯の認知・検挙状況</p> <p>イ 交通事故発生状況</p> <p>(3) 被害者支援活動（ひまわりの絆プロジェクト）の実施について</p> <p>(4) 山岳遭難事故対策について</p> <p>(5) 懲戒処分等報告</p> <p>(6) 警察官採用業務概要説明</p>	

5 質疑応答

本協議会において、各委員から事前集約した質問、意見、要望等

○ 水難事故対策について

【委員】

これから夏に向けて川や海での事故に対する対策などありましたらお聞かせ下さい。

【警察】

当署は、富川自動車学校とドローン派遣協定を結んでおり、山岳遭難や水難事故時の出動も可能であり、上空からの捜索に迅速に対応する体制を取っています。

昨年は、7月に、日高町日高地区の沙流川においてカヤックで川下り中の男性が流されて死亡するといった事故が発生しており、門別警察署緊急速報を発出するなどして注意喚起を図っています。

また、注意事項として「家の人に行き先を伝える」、「子供だけで絶対に行かない」、「立入禁止場所では遊ばない」といった注意喚起を各学校、町内会回覧板、広報誌、各会合などの場を活用して周知を図っているところでもあります。

○ 日高自動車道の道路維持管理について

【委員】

- ・ 穴が開くなど傷んでいる箇所があります。
- ・ 沼ノ端東出口から国道に合流する場所の除草について
- ・ 鵠川入口より少し行った場所で一車線になるが、同所の矢印が薄くなり見えづらい

【警察】

日高自動車道に関する件ですが、管轄する苫小牧道路事務所に確認したところ、道路の傷んでいる箇所の補修については、時期は未定ですが、順次進めていくとのことでした。

指摘の場所（鵠川入口）については、舗装工事が始まっているとのことでした。

また、除草作業についても順次行っていますということではありますが、鹿ポイント（鹿が出る箇所）を優先して行っているとの説明でした。

○ 必要のない信号機及び国道237号線（平取町内）の追い越し禁止規制について

【委員】

- ・ 日高町富川北6丁目の信号機の撤去について進展があれば教えてください。
- ・ 国道237号線（平取町内）の追い越し禁止規制を見直して欲しい。

【警察】

交通安全施設は、交通状況や維持管理面から定期的に見直しを行って

おり、撤去や移設を行っております。

そのためには、交通量、過去の交通事故発生状況、信号機の利用状況等もあるのですが、地域性への考慮、地域住民への説明、理解も必要であり、それぞれ調査検討していくことになります。

※ 次回のテーマについて「交通安全施設に関する事項」をテーマとすることとした。

6 ドローンを活用した山岳遭難など要救護者捜索救助訓練(富川自動車学校合同)の実査

登山者2名のうち1名(要救護者)が、ゲリラ豪雨により滑落し、土砂崩れに巻き込まれたとの想定により、富川自動車学校にドローン派遣要請し、同ドローン装備であるサーモグラフィにより撮影を行い、要救護者の埋没場所を特定した後、地上捜索部隊における救助訓練を実施し、同訓練を実査した。

○ 訓練実査時における各委員からの質問、意見、要望等

【委員】

ドローンの活動範囲について教えてください。

【警察(富川自動車学校)】

オペレーターが、操作可能な最大距離は約4キロメートルです。

(障害物がない場合)

7 次回協議会開催予定

令和5年9月に開催予定とした。

8 閉会の辞